**14期生／ステップアップ方式の全体像（初級～プロフェッショナルコースまで）**

**初級コース（1年目）～オルガノン§1～70**を目標とします。

ホメオパシーの基本原理を一通り学びます。

急性症状や日常生活で起きて来る問題に対して、的確な対応ができるようになります。

**中級コース（2年目）～オルガノン§71～**

基本原理の理解を深めながら、慢性症状に対しても的確な対応ができるようになります。特にマヤズム（病を引き起こす真の原因）を探求していきます。レメディ学習も

順次ファミリー（周期律・類・属・種）という大きなくくりで学び始めます。

**上級コース（3年目）～オルガノン§196～**

実践編：急性と慢性を見極める力を養います。身の周りの人のケースを自分で取ってレメディを決められる力を付けることを目指します。ホメオパシーの実践で一番大切なケーステイキングの基礎を体得することができるようになります。

**プロフェッショナルコース（4年目）**

ホメオパシーのプロフェッショナルになるための専門コースです。仕事としてのホメオパシーができるように実践的に学んでいきます。やや複雑な慢性のケースにも対処できるようになります。

※各地で実施しているCHK主催の入門セミナー及びセルフケア講座へは自由にご参加頂けます。

-----------------------------------------------------

**初級コース（1年目）の講義内容（およそ下記内容を学びます）**

**フィロソフィー（基本原理）**（オルガノンの主な該当単元＝§1～70）

ホメオパスの役割・使命。ホメオパシーとは何か？理想的治癒とは？

健康・病気・症状の関係（健康観）人はなぜ病むのか？治るのか？

類似の法則（個別化する療法）～アンチパシー（逆療法）。アロパシー（異種療法）との対比

プルービング（レメディのもつ治癒力を体感してみる）

レメディとは　シングルレメディ・ミニマムドーズ（単一処方・最少投与の必然性）

ホメオパシー基本概念／感受性、ポラリティー、モダリティー、惹起要因、持続要因、SRP

ヘリングの法則（治癒の法則）

急性病と慢性病を分ける　急性病（流行病）への対処（風邪、怪我、痛み、胃腸の不調 等）

マテリアメディカに馴染む。レパートリーの使い方入門。CLAMS的観方考え方。

ホメオパシーの歴史

**基本レメディの学習**基本（急性）レメディを主体に30～35個程度を学びます。

**※解剖・生理・病理症候学の基礎**　**7月23日（祝）及び2021年3月13日（予定／合同授業）**

以上です。